

## 名古屋競輪場BMXレースコースの指定管理に係る選定手法等検討会議

### 議事要旨

○日 時：令和7年1月14日（火曜日）

○場 所：名古屋競輪場 第一会議室

○出席者：（委 員）大久保修次委員、山本竜朗委員（オンライン出席）、  
山本将利委員  
（事務局）原事務局長、清水事業部長兼競輪場長、櫻井総務課長、  
太田経営企画課長

#### ○議 題

- 1 非公募方式の採用について
- 2 選定手法等について

#### ○議事要旨

- 1 非公募方式の採用について

事務局より資料に基づいて説明を行い、最初の指定管理者候補を非公募で選定することの妥当性について、委員から意見を聴取した。

- 2 選定手法等について

事務局より資料に基づいて説明を行い、募集要項（案）など選定手続き等に関する事項について、委員から意見を聴取した。

#### ○委員から出された主な意見

- ・指定管理者制度は、管理主体の選定手続きの透明化も目的としており、指定管理者を非公募で選定することは例外的な扱いとすべきである。名古屋競輪組合として、公募・非公募に関する基準が存在し、それに照らして判断しているのであれば妥当ではないかと考える
- ・総合委託契約の中で株式会社JPFが提案した内容の継続性やアジア競技大会などの特殊事情を踏まえ、非公募にすることについては妥当で

はないかと考える

- BMX レースコースが競輪場に隣接しているという状況の下では、指定管理者は、競輪に対する知識も必要であると考え
- 幼少期よりBMXを経験し、BMXで優秀な成績を残しているライダーは、優秀なトラック競技選手・競輪選手になる可能性が高く、BMXの裾野を広げることは、ひいては優秀な競輪選手を輩出することにつながるのではないかと考える
- 降雨による施設への影響を鑑み、法的な制約等は踏まえつつ、レースコースを覆う屋根の追加設置も検討すべきではないかと考える
- 指定管理料については、他都市の類似施設などを参考に精査されたい
- 競輪開催業務と指定管理業務を同じ事業者が請け負うことになるが、それぞれの経費や人員配置などはしっかりと区分する必要がある、実際の運用も含めて正確に把握し、本体の競輪収支に影響が出ないよう留意されたい